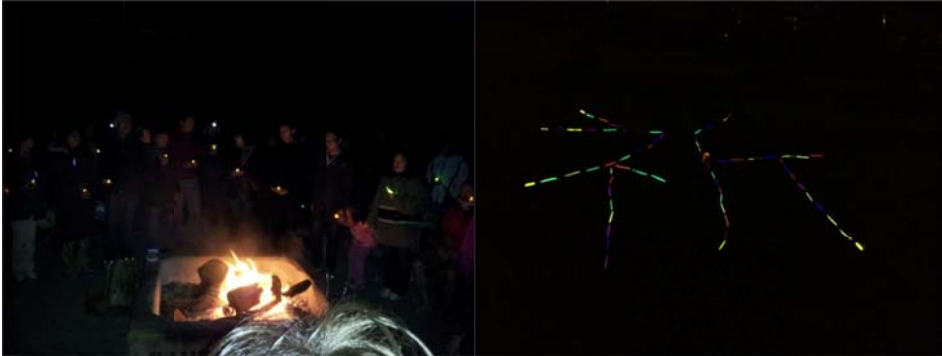


SDJEN 活動履歴
2013 年

日付	活動内容
3/11/2013	<p>東日本大震災 2 周年黙祷の集いを行う。</p> 
6/2013	<p>岩手県釜石市鶴住居町にて、サンディエゴからの 7 名がボランティアに参加</p> 
10/26/2013	<p>第 1 回サンディエゴ日系ネットワーク交流会を Highpoint Church にて開催。サンディエゴのボランティア団体や非営利団体を知ってもらい、人々との交流を図る目的のイベントで、2 部構成となっており、各団体の紹介が終わった後は、親睦会が開催され軽食を食べながら交流を深めた。</p>
11/3/2013	<p>ドキュメンタリー映画「花見山の春」を学習塾 Piik にて上映。 福島原発事故で影響を受けた地域住民のその後を追った内容で、見た人々に深い感動を与えた。 この映画の英語サブタイトルの作成費用の寄付を募り、寄付金は全額製作者側へ寄付された。</p> <p>製作者 Website : http://interbay.jimdo.com/home/</p> <p>平和な町に原発事故が起きて故郷を追われて避難した方々… 避難する程の放射線量でなくても不安を覚えながら生活せざるをえない市民… でも、明るく未来を信じて今を生活している姿を観てもらいたい、という思いから今回上映されることになった。</p> <p>映画監督のおもい： 大震災から 2 年が経過し、過去の記憶になりつつある昨今ですが、そこには、多くの困難と直面し、立ち向かう人々があります。「自分たちの故郷に住み続けること…私たちの望みはただそれだけです。今、この瞬間をどのような覚悟で故郷とともに生きればよいのか」そんな思いを巡らせる日々が続いています。本当の空の下にある、本当の福島を知ってください。</p> <p>「花見山に今年も変わらぬ春が来ました」</p> <p>今なお、原発の現場では事故との格闘が続いており、収束まであと 40 年かかると言われています。 福島県以外の方は、「ふくしま」の事故は終わったと思っている人がほとんどです。 その汚染された土を入れた山を見ながらこれから何十年と生活していきます。</p>

映画では 監督が最後に「すべての人が3・11を忘れないで、あの日一人一人が、何かを誰かの為にやろうと思った事を忘れないで欲しい」との気持ちをこめています。



10~11/10/2013

2014 年度 SDJEN 被災地支援ホームステイプログラム のための JAL 航空券サイレントオークションを行い、売り上げは、被災地からの高校生を呼び寄せるための航空券購入などホームステイプログラムのために使用されることになる。

12/22~23/2013

岩手県出身のユニット*はなおと*の安藤さんと仙波さんがサンディエゴを訪問。
12/22 は SDJEN メンバーとの交流会で歌声を披露し、ふるさとや被災地への思いを語り、交流を深めた。
12/23 は SDJEN メンバー協力のもと、菊ガーデンと Open Mic でライブを決行。

